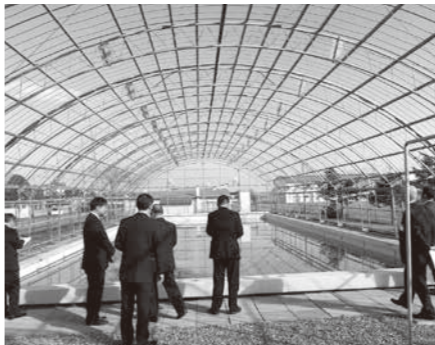


委員会レポート①

1 調査の経過と結果

(1) 大津小学校

普通学級2（複式）、特別支援学級2（知的、言語）の児童数7人、教職員8人である。校舎は、昭和53年12月に完成し、建築後37年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館屋根塗装改修」「校舎外壁塗装改修」「校舎ガラス更新」などの改修を25、496千円で実施したほか、小破修繕や補修が毎年行われている。



大津小学校プールを視察

(2) 豊頃小学校

普通学級6、特別支援学級

委員会レポート②

1 調査の経過と結果

(1) 足寄町高齢者等複合施設

本施設は、小規模多機能型居宅介護施設と地域交流施設の機能を一体的に整備した「地域支援合センター」が平成26年4月1日に、認知症高齢者グループホーム、生活支援長屋が平成27年4月1日に供用を開始し、4機能がまとまった施設である。小規模多機能型居宅介護施設は、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」の3サービスを組み合わせた在宅介護サービスを提供。定員は29名、宿泊居室9室で、営業日は年中無休となっている。利用料金は、介護保険月額料金1割負担の要支援1で4、498円、要介護5で28、305円で、宿泊料金は1泊1、600円、食事代を加えた額が月額の利用料金となっている。

11月17日、総務文教常任委員会は、町内小中学校を訪問し、教育環境の充実の観点から過去5箇年の学校施設及び教育教材等の整備状況とその現況について調査した。

4（情緒、知的、言語、病弱）の児童数136人、教職員18人である。校舎は、平成3年3月に完成し、建築後24年8箇月が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館屋根改修」「校舎屋根塗装改修」「暖房改修」「校舎屋上防水改修」「体育館外壁塗装」「駐車場舗装改修」「校舎内LED化」「廊下フロア改修」などの改修を90、841千円で実施したほか、小破修繕や補修が毎年行われている。

普通学級3、特別支援学級3（情緒、知的、言語）の生徒数77人、教職員17人である。校舎は、昭和49年12月に完成し、建築後41年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「駐車場整備」「校舎周辺環境整備」「受電設備改修」「校舎前側溝補修」などの改修を7、181千円で実施したほか、小破修繕や補修が毎年行われている。

委員会レポート③

1 調査の経過と結果

(1) 足寄町高齢者等複合施設

11月20日、産業厚生常任委員会は、高齢化が進む本町において独居高齢者・高齢者世帯が安心して暮らすための施設のあり方について、管内の高齢者施設を視察調査した。

開催日は週二日の2コース（月・木コース、火・金コース）、利用料は1日600円（施設利用料、昼食代、入浴料を含む）で設定されている。



足寄町高齢者等複合施設「むすびれっじ」を視察

認知症高齢者グループホームは、認知介護が必要な高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らすための施設として、要支援2から要介護5の認定を受けた町内居住者で、共同生活に支障がない方を対象としている。利用料金は、月額3万7千円のほか、食事代、光熱水費などとなっている。

2 まとめ



豊頃中学校の概要説明を遠藤校長から受ける。

本調査では、3校それぞれに特色ある学校経営が展開され、児童・生徒の教育活動が教職員をはじめ、地域との連携により進められ、今後これら教育活動の継続により更なる教育の充実が期待できる。

学校施設では、建築後40年以上経過する豊頃中学校について、児童・生徒数の動向を見据えながら、建替えなど総合的な検討を早期に進める必要がある。また、大津小学校では、プール、体育館をはじめ学校施設の改修・修繕や周辺環境の整備など、必要な教務教材が購入されている。



豊頃小学校でのタブレット授業の様子



JA木野住宅型有料老人ホーム「すずらん」の概要説明を受ける。

生活支援長屋は、住み慣れた自宅での生活を継続できるように、支援が必要な期間に滞在できる宿泊居室9室（ミニキッチン、トイレ設置）を有する施設である。サービスは、日常的な見守り、朝夕の食事、日々のコミュニケーション、心配事相談等で、特に退院後に体力的に自宅暮らしが難しい方が心配で、自宅からリハビリ等で通院するのが大変な高齢者をサポートし、長屋での生活を通して自宅に戻る準備をするための施設である。朝夕の食事

生活支援長屋は、住み慣れた自宅での生活を継続できるように、支援が必要な期間に滞在できる宿泊居室9室（ミニキッチン、トイレ設置）を有する施設である。サービスは、日常的な見守り、朝夕の食事、日々のコミュニケーション、心配事相談等で、特に退院後に体力的に自宅暮らしが難しい方が心配で、自宅からリハビリ等で通院するのが大変な高齢者をサポートし、長屋での生活を通して自宅に戻る準備をするための施設である。朝夕の食事

JA木野住宅型有料老人ホーム「すずらん」

農協組合員からの要請で、平成19年に有料老人ホームとしてオープンした。施設は鉄筋コンクリート造、8階建て、81室108人収容となっている。1階に24時間対応のフロント、食堂、大浴場、娯楽室等が配置され、2階以上は居住スペースとなっている。食堂で食事のサービスを受けることができるが、居住スペースには炊事施設があり、自炊も可能となっている。また、同施設には、小児科内科医院、通所介護施設も併設され、利用料は、4タイプの居住スペースが、月額4万2千円から7万3千円、敷金は6箇月分、食事サービスは1箇月30日の場合、月額約4万3千円。電気・水道・電話・NHK受信料は入居者負担となる。入居対象は60歳以上の日常生活自立者となっている。

「シルバースティ十勝おびひろ」

㈱太平洋シルバースティサービス北海道が平成23年にオープンした